

# 来年度予算で市の局別要求を公開

平成27年度予算  
編成過程の公開

## あなたの意見を出しましょう

### 予算編成に市民が積極的に関与できる

市議会は2010年6月議会で「予算編成の透明性の確保と市民意見の予算への反映に関する条例」を制定し、名古屋市は毎年『予算編成の過程の公開（予算要求の内容）』を公表し、市民意見の募集を行っています。

今回は11月21日(金)から12月22日(月)まで意見を募集。予算編成に市民が意見を言うことができます。

予算見通し（9月作成・億円）

		26年度予算	27年度見込み
歳入	市税	5,000	4,994
	5%減税額	△ 118	△ 114
	市債	852	705
	その他	4,722	4,755
	計	10,574	10,454
歳出	人件費	1,661	1,666
	扶助費	2,708	2,799
	公債費	1,369	1,339
	投資的経費	894	820
	その他	3,942	3,894
	計	10,574	10,518

### 市民要望の実現と悪政阻止へ

来年度一般会計の予算見込額1兆518億円のうち、「政策的に判断が必要なもの」を中心に「新規・拡充事業」「廃止・縮小事業」「使用料・手数料改定等」などが示されています。

「政策的に判断が必要なもの」のうち、臨時・政策的経費は、各局が配分された予算とは別に確保された一般財源（70億円）を使って、何が出来るかを示したものです。今回の要求は184億円の一般財源で1256億円の事業を要求しています。市民意見などを聞きながら、財政局で184億円を70億円に絞り込む作業が行われ、1月の財政局案や市長査定予算案となっていきます。

また敬老パス（26年度予算一般財源125億円）を含ん

だ外部評価実施事業でも一般財源は136億円を上限にしています。

経常経費や経常化している政策経費は物件費10%削減が示されていますが、大型事業が多く含まれる法定事業や債務負担行為等経費は所要見込額を配分するとして聖域扱いです。

上下水道、交通、病院の公営企業会計も基本的な考え方や新規・拡充事項が示されています。

臨時・政策的経費（単位：百万円）（）書は 一般財源額

区分	26年度予算額	27年度要求額
会計室	— (—)	7 (7)
市長室	— (—)	— (—)
総務局	275 (90)	890 (471)
財政局	3,489 (329)	3,936 (264)
市民経済局	78,661 (839)	79,582 (2,114)
環境局	448 (444)	407 (371)
健康福祉局	9,920 (1,798)	5,037 (3,396)
子ども青少年局	6,142 (488)	4,207 (1,404)
住宅都市局	3,893 (1,043)	4,008 (990)
練政土木局	4,717 (621)	3,768 (1,816)
消防局	712 (230)	1,499 (674)
教育委員会	3,437 (1,082)	22,339 (6,946)
合計	111,694 (6,965)	125,630 (18,453)

( )の額で7,000百万円にする

### “金持ち・大企業減税”実施が前提に

内容は、敬老パスのように「未定」のもの、“市民要求の実現”と評価できるものもあれば“反対”“やめさせたいもの”や“中身を確かめるべきもの”など様々です。たくさんの意見を市に提出し、実現すべきは着実に実現させ、やめさせたいものにもキチンと意見を言いましょう。市民の皆さんが要望や意見を積極的に提出されることを呼びかけるものです。

### 予算編成過程の公開について

- 公開は市のホームページに掲載。区役所情報コーナー、市民情報センター（市役所西庁舎1階）でも閲覧できます。
- 意見提出は、住所、氏名、年齢、性別、事項名、局名、ご意見を記入。ご意見が複数ある場合は事項ごとに提出。

（所定の様式がありますが、それ以外でも可）

- 提出先は〒460-8508 名古屋市財政局財政部財政課（住所記入不要）に、郵送。  
fax (052-972-4120) または  
電子メール：a2312@zaisei.city.nagoya.lg.jp
- 募集期間 2014年11月21日（金）～12月22日（月）